



駿台生 eラーニングシステム～PLATON～
 (Practice Lesson and Active Training on the InterNet)
 駿台クオリティの eラーニングシステム —2018年4月から運用開始—

駿台予備学校では、通常授業に加えてスマートフォン、パソコン、タブレットでいつでもどこでも繰り返し学習可能な「駿台生eラーニングシステム～PLATON～」を2018年4月より全国校舎で運用開始いたします。

【本件のポイント】

- 駿台生eラーニングシステム～PLATON～を、全国の駿台現役フロンティア(高校生クラス)と一部の高卒コースに導入。駿台の授業との相乗効果で学力をバランスよく向上。
- 高1・2 学習指導要領に連動し、ほぼ毎週一回のペースで新たな問題がリリースされる「実戦演習 CBT (Computer Based Testing)」で、自分の“弱点分野”を明確化。
- “弱点分野”は、自習用コンテンツである、3レベル(センター試験レベル/高校教科書レベル/中学学習範囲の総復習)の「単元別映像授業」と「基礎確認 CBT」を利用して集中的に克服。
- 駿台クオリティの「英語4技能対策コンテンツ」を新たに開発。年々拡大する大学入試個別試験での英語4技能試験利用型入試と、2021年度入試から始まる共通テストで導入される英語4技能検定試験の、双方に向けた対策も万全。

【本件の概要】

2018年4月より、CBTによる演習とピンポイントの映像授業を組み合わせることで、学習指導要領に沿った演習と“弱点分野”克服が合わせて可能となる、駿台クオリティの新たなeラーニングシステム～PLATON～を、全国の駿台校舎にてスタートさせます。同時に、大学入試での導入が拡大する「英語4技能対策」コンテンツも新たに開発し、PLATONに搭載します。

「実戦演習 CBT」は、大学受験レベルまで対応できる長文・読解問題も含み、年間を通したペースメーカーとしての役割も務めます。「単元別映像授業」と「基礎確認 CBT」は、弱点分野の補強・基礎学力の定着としての役割を担うコンテンツです。

「英語4技能対策」としては、英検等検定試験の特徴と効果的対策を内容とする「英語4技能資格・検定試験 攻略へのロードマップ」で実戦的攻略法を学び、日常生活で遭遇する場面別に今すぐ使える様々な表現を学べる「エッセンシャル会話表現」を用意し、対策の難しい Speaking・Listening にも対応します。



【お問い合わせ先】 (学)駿河台学園 広報部 (担当:中村)

TEL 03-5259-3231/FAX 03-5259-3057

E-mail public-s@sundai.ac.jp